### 富山型高性能住宅とは?

- ・ZEHレベルより高い省エネ性能を有し、 環境にやさしく、快適、健康、安心を備えます。
- ・富山の景観や文化、産業にも配慮した、未来へ 続く持続可能な住宅です。

ZEHとは? エネルギー消費量収支ゼロを目指した住宅



#### 断熱性能(UA値)の推奨性能



民間団体「HEAT20」が提唱するグレード

※ ゾーン改修…限定した空間だけを断熱化する改修 全体改修…建物全体を新築住宅レベルに断熱化する改修

このほか、一次エネルギー消費量(削 減率)、太陽光発電設備、耐震性能、富 山らしさなど、新築・既存改修それぞ れに、県独自基準を設けています。詳 細についてはこちらをご覧ください。



#### 参考情報

~省エネ・健康住宅について知りたい~

#### 省エネ住宅のススメ

(富山県)





家選びの基準変わります (国土交通省)



「省エネ住宅」と「健康」の関係を ご存じですか? (国土交通省)



健康に暮らすための あたたか住まいガイド (一般財団法人ベターリビング)



ウチん家デコ活会議 (富山県)





デコ活アクションをご紹介

とやまカーボンニュートラルポータル (富山県)





富山県土木部建築住宅課

〒930-8501

富山県富山市新総曲輪1-7

TEL: 076-444-3357 FAX: 076-444-4423 Mail: akenchikujutaku01@pref.toyama.lg.jp



# 富山型高性能住宅

~健康と快適を未来へ~





### なぜ富山型高性能住宅か?

## 光熱費高騰

雷気代やガス代が年々上がり、毎月 の家計を圧迫しています。これから の住まいに、賢いエネルギー対策が 求められています。

太陽光発電・蓄電池・V2Hなど 新しい技術の活用が有効です!

## 健康リスク

冬の寒さや夏の暑さで体調を崩す ことはありませんか。住まいの性能 不足が、家族の健康に影響を及ぼす ことがあります。

> ヒートショックが心配 熱中症死は全国上位

## 環境配慮

地球温暖化が進むなか、私たちの暮 らしも見直しが必要です。住まいか ら出るエネルギーを減らすことが、 未来を守る一歩です。

> カーボンニュートラルの実現に向けて、 暮らしから排出される〇の削減が必要

### 富山型高性能住宅 3つの約束

### 快適×省エネ



一年中**快適な室内環境** 

を実現します。外気の影響を受けにくく、冷 暖房効率も高まるため、光熱費を大きく抑える ことが可能です。家計にやさしく、同時に地 球環境にも貢献する、省エネで持続可能な暮 らしを叶えます。

> 共働きの多い富山県では、太陽光発電と蓄電 池を組み合わせることで、昼間発電した電気 を夜間に効率的に使用することができます。

### 健康×安心



部屋ごとの温度差を 小さくし、**冬のヒート** 

ショックや夏の熱中症など健康リスクを低減しま す。室内空気環境も快適に保たれ、**子どもから 高齢者まで安心して過ごせる住まい**を実現しま す。住む人の健康を守り、日々の生活に安心 をもたらします。

> 湿度が高い富山県、防湿と調湿で、 カビやダニの発生を防ぎます。

### 耐震×安全



建築基準法レベルを超え る耐震性能をもつことで、

**大地震の際に大きく崩れるのを防ぎ**、安心して 暮らせる家を提供します。

> 長期優良住宅の認定を受けることで、税の特 例や地震保険料の割引き等が受けられます。

#### <富山らしさ>



「富山らしさ」は、景観や 周辺環境に調和する美しい

住まいであること、瓦や左官壁などの**伝統技術や** 工芸を活かすこと、さらに**県産材を使用**し、林業 振興やカーボンニュートラルに貢献しながら、人、 地域、環境にやさしい家を実現することを求めて います。

#### <改修工事も富山型>

富山県の住宅は大きく部屋数が多いため、全体改 修だけでなく居間や寝室、浴室など使用頻度の高 い空間を重点的に改善する「ゾーン改修」も推奨し ます。コストを抑えた工事が可能になり、省エネ 化の底上げを図ります。

#### 住宅選びはこの数値をチェック!

**UA値** (ユーエーち) (外皮平均熱貫流率) 住宅の断熱性能を示す指標。数値が小さいほ ど断熱性能が高い。

**C値** (シーち) (気密性能)

住宅の気密性能を示す指標。数値が小さいほ ど気密性能が高く、隙間が少ない。

#### 耐震等級

地震に対する住宅の強さを示す3段階の指標で、 数字が大きいほど耐震性が高い。

富山型高性能住宅は、国の基準を上回る高い 性能基準を設定しています。カタログや仕様 書に記載された数値を確認することで、快適 性や省エネ性の違いが一目でわかります。

賢い住宅選びの指標です。